

まほろば元気通信

co-op shizenha nara official newsletter vol.1165 2022.12.12

注文専用
ダイヤル

フリーダイヤル **0120-408-154**
携帯電話(無料通話プランなし) 0570-050-154
携帯電話(無料通話プランあり)・IPフォン 088-666-3321
受付時間▶ ①10:00~21:00 ②~④8:00~21:00 ⑤8:00~10:10

組合員
サービス
センター

フリーダイヤル **0120-408-300**
携帯電話(無料通話プランなし) 0570-063-008
携帯電話(無料通話プランあり)・IPフォン 088-603-0080
受付時間▶ ①~④8:30~20:00

2022
vol.40
NARA

報告

新型コロナとワクチン後遺症についてのお話会

- 開催日:2022年9月26日
- 場所:maru room
- 主催:ふうど(GM)

新型コロナワクチン接種後に体調不良になる、「ワクチン後遺症」当事者のお二人をお招きして、体験を語っていただきました。

<Iさん(40代)のお話>

私は2021年の夏にコロナワクチンを接種しました。2回目接種の2週間後に倦怠感、胸の痛み、手足のしびれなどの症状が現れ、救急車で搬送されることが3回続きました。検査をしても原因不明と言われ、病院を何か所もはしごしました。それでも症状の改善は見られず、たまたま兵庫県内で「ワクチン後遺症」患者の診察をしている長尾医師と出会い、かかることになりました。現在はステロイドなどを用いた治療により、少しずつ症状は良くなっていますが、接種以前の穏やかな日常はまだ取り戻せていません。

多くの医者には「ワクチン後遺症」の存在を認めてくれず、適切な治療方法や薬も知りません。また、同時に、体調不良の原因がワクチンにあるという自覚症状のない方も多いのではないかと思います。一人でも多くの人にコロナワクチンの問題点やデメリット、ワクチン被害の現状を知ってもらい、情報を知った上で判断してほしいと思っています。接種から1年以上苦しい日々が続いているので、今回体験を皆さんとシェアできる機会を得て嬉しく思います。

<Aさんのお話>

私の娘は昨年9月、小学6年生の時にコロナワクチンを接種しました。接種を決めたのは、10月に修学旅行がある事と、連日のコロナ関連の報道にどこか洗脳されていた部分があったと今では思います。接種2週間後に「身体が自分の身体ではないような感じがしておかしい、お願いだから病院に連れて行ってほしい」と、普段は病院に行きたがらない娘が血相を変えて私に言いました。異様な様子でした。吐き気で横になって寝る事ができない、微熱が続く、お腹に発疹が現れる、舌に苔状の白いものが現れる等の症状が出ました。原因が分からず、病院をたらい回しにされました。検査のため1か月入院し、楽しみにしていた修学旅行には行けず、寝たきりになり学校にも通えなくなりました。病院では、採血やMRI等、骨髄検査以外の全身の検査をしましたが、結果は「異常なし」でした。入院して2週間を過ぎた頃、私は娘の症状はワクチンが原因ではないかと思い始めました。どの検査も「異常なし」と出るからです。担当医師にも「娘の体調異常はワクチンが原因ではないですか」と何度も確認しましたが、そうした判定はせず、何かの病気ではないかと点滴と採血の日々が続きました。娘は衰弱して痩せていく一方でした。この病院にいても治らない、弱っていくだけだと、どんどん親子で追い詰められていきました。ワクチン後遺症の治療をしてもらえるお医者様を必死で探し、尼崎の長尾医師を知り、治療をしていただきました。長尾先生は模索しながら丁寧に娘の治療に当たって下さいました。娘に合った薬を組み合わせて、徐々に寝たきりだった症状が改善していきました。症状が出て一年が過ぎ、中学には休み休みですが通学できるようになってきました。ただ、今もワクチン接種前の元気だった身体とは違い、まだまだ制限が多い生活です。国はワクチンを推奨していますが、【因果関係不明】として後遺症を認めず、アフターケアや補償の事は考えてくれません。辛い思いをしている私達患者は国に放置されています。被害者の増加が危惧される中、生後6か月から4歳児のワクチン接種も認可するという厚生労働省の発表がありました。「厚生省、ワクチンデータベース」で検索すると、ワクチンを接種した5歳児以上の子ども達にも被害が出ていることがわかります。どうか皆様、ご自分で情報を収集して下さい。国やメディアだけを信じてしまうと、命や健康が大変な目に合い、日常生活が壊されてしまいます。私達家族に起きた出来事をお話しすることで現状を知り、考えていただければと思います。

報道ではワクチン接種のメリットばかりが強調され、デメリットを知る機会が少ないのが現状です。まだ治療中の大変な中で、お二人がお話しに来て下さったことはありがたく、参加者の皆さんからも「お話を聞いて良かった」との声が多数ありました。コープ自然派奈良としても、判断材料となる情報を伝えていくにはどうすればいいか、今後も考えていきたいと思っています。

参考情報

- ・CBCテレビとサンテレビでは、「ワクチン後遺症」についてのニュース動画をYouTube配信しています。
 - ・「東北有志医師の会」では、厚生労働省のリーフレットに対する「正誤表」を作成し、発信しています。
- 【報告者:西村いずみ】 <https://tohokuishi.localinfo.jp/>



◇自然派の野菜セット

40号の企画はお休みです1,080円(税込)

ぜんぶ奈良県産! 奈良県農民連から鮮度バツグンで届きます。直近のお届けは、セロリ、小松菜、春菊、紫からし菜、かぶら、菌床しいたけ。



◇谷農園の野菜セット

<40号> 注文番号021135

1,080円(税込)

長年根強いファンをもつ、すべて無農薬の野菜セットです。直近のお届けは、大根・菊菜・スティックセニョール・赤いかぶ・しろな・レタス・里芋

事務局NEWS

今週ぜひチェックしてほしいお知らせをお届けします。



お問い合わせの前に

組合員サービスセンターへのお電話が集中しつたがりにくくなってあります。お問い合わせをいただく前にホームページの「よくあるご質問」をご確認ください。



よくあるご質問はこちら

キッチンカー出店情報

『平群マルシェ』

@平群中央公園(生駒郡平群町若井345番) 12月17日(土) 10:00~15:00
『まきむくマルシェ』@桜井市:JR巻向駅周辺 12月17日(土) 11:00~14:00

お友だち紹介キャンペーン

お友だちにコープ自然派を紹介すると、紹介した組合員さんと紹介されたお友だちに、10フレンド差し上げます。ご紹介特典の条件:フレンド獲得には、新しくご加入頂いたお友だちが、ご加入後2か月以内に、1万円以上(商品代金)のご利用が必要です。お友だち紹介をお待ちしております!!

私のおすすめ商品

『自然派style絹ごし豆腐』

北海道産の大豆を100%使用したおいしいお豆腐です。寒さが厳しくなってきたので、お鍋にすると体がとっても温まります。冷蔵庫に常備しておきたい一品です!(拡大職員 青木淳)



エコな住まいZEH(ゼッチ)て何?まずは知ることから始めましょう

ネットゼロエネルギーハウス、略してZEH(ゼッチ)は、使うエネルギーと作るエネルギーを±0にする家づくりです。NPO国産材住宅推進協会の中津 真さんを講師に迎え、高い断熱性能で夏も冬も生活しやすいZEH(ゼッチ)について実際の事例を紹介していただきながら、費用の事はもちろん、メリットデメリットを詳しく教えていただきます。ZEH(ゼッチ)の充実した補助金制度は賢い家づくりの一助にもなります。木のぬくもりのある暖かな家づくりと一緒に学びましょう!

■日時:2023年1月11日(水)10:00~12:00

■会場:オンライン開催 ■講師:中津 真さん(国産材住宅推進協会)

- 参加費:無料 ■定員:100名 ■主催:自然の住まい協議会 ■イベントID:16223417
- 申込み開始日:12/12(月)12:00より先着順 ※メールは同日午前0:00より
- 申込み切:1/5(水) ※定員に達し次第、受付終了 ※メールでお申込みください。



メールで申込み

大和野菜「味間いも」を収穫しよう♪

里芋ってどんなふうに見えるか知っていますか?大きな親芋のまわりに小芋がたくさんくっついているのです。奈良の在来種「味間いも」は、白くてきめが細かくて、ねっとりしたとっても美味しい里芋です。泥んこの中からシャベルで「よいしょ!」と掘り出しましょう。親芋も食べられます。自分で掘ったお芋の味は格別ですよ♪ ※大人は里芋一袋のお土産つき

■日時:2023年1月14日(土)10:30~12:30

■会場:南檜垣営農組合の畑 ※集合場所はお申し込み頂いた方にお知らせします

- 参加費:大人300円 こども100円(一般共) ※子ども=中学生以下 ■イベントID:16223418 ■定員:20組50名程度
- 持ち物:軍手、タオル、お茶、シャベル(あれば)、持ち帰り用の袋、レジャーシート ■服装:汚れてもよい服、長靴
- 主催:理事会(ふうど) ■申込み切:1/6(金) ※応募者多数の場合抽選。 ※締め切り後、参加できない人にだけ連絡します。連絡がない場合は参加できます。



メールで申込み

子どもビブリオバトル「あなたの推し本教えてください!」

ビブリオバトル、挑戦してみませんか? ビブリオバトルとは、発表者が自分の「推し本」をみんなに紹介して、観覧者の投票でいちばん読みたくなった本を決めるイベントです。今回のテーマは「食!」食にまつわる本、食から連想する本など、あなたの推し本を教えてください!

①発表者:小・中学生 8名募集

一人で発表に自信のないお子さんは家族と一緒に発表もOKです。発表方法は後日メールで連絡します。

②観覧者:小・中学生・保護者など 22名 ※子どもゆめ基金助成を受けて開催します。

■日時:2023年1月15日(日)13:30~15:30

■会場:生駒市図書館大会議室(生駒市辻町238) ■協力:生駒市図書館

- 参加費:無料(一般共) ※子ども=中学生以下 ■主催:北東和地区くらぶ連絡会 ■イベントID:16223397
- 定員:①発表者8名(小・中学生) ※メールでお申し込みください ②観覧者22名(小・中学生・保護者) ①か②のどちらに何名申込か、必ずご記入ください。 ■託児:なし。子ども・1才未満の同伴:可。
- 持ち物:筆記用具・お茶・マスク ※発表者はオススメする本を持ってきてください。
- 申込み開始日:12/12(月)12:00より先着順 ※メールは同日午前0:00より ■申込み切:1/6(金) ※定員に達し次第、受付終了



メールで申込み



イベント情報
ホームページから簡単に
お申込みができます。

●イベントのお申込み方法
<24時間受付> mail: eventnara@shizenha.co.jp
★件名には必ず「コープ自然派イベント申込」と記入の上、送信ください。
★3営業日を過ぎても連絡がない場合はサービスセンターへお問合せ下さい。

<月～金8:30～20:00>
フリーダイヤル: 0120-408-300

携帯電話(無料通話プランなし)・IPフォン 0570-063-008
携帯電話(無料通話プランあり)・IPフォン 088-603-0080

- 【お願い①】 準備の都合上、イベント申込・託児の**キャンセル**は、前日までに**必ずご連絡**ください。
【お願い②】 お昼を越えるイベントでお子様に昼食をお持ちの際は「おにぎり」のみとして下さい。
アレルギーのお子さんが、他のお子さんの昼食を欲しがらるためです。ご協力お願いします。
【お願い③】 参加費はおつりのいらぬようにご準備ください。特に高額紙幣はご遠慮ください。
【お願い④】 企画の場を通して政治・宗教・ネットワークビジネスなどへの勧誘活動はお控えください。
- ▼お申込み時お伝えください。
①イベントID
②参加者氏名
③組合員コード
④参加人数
⑤連絡先
⑥託児(名前・年齢・性別)

イベントの受付はメ切日の17:00までです **託児のメ切はイベントメ切の1週間前です**

マスク着用については施設のルールに従ってください。

♪メンバー募集中♪ 各チーム・地区くらぶでは一緒にイベント企画などの活動をするメンバーを募集しています。興味のある方は組合員サービスセンターまでお電話ください。折り返し連絡いたします。

・組合員活動コラム・
自然派防災カフェ

集中豪雨での水害、頻発する地震…
自分を家族を守るためには何をすれば良いのかどんな備えが必要か。自然派防災カフェはお茶を飲みながら気軽に防災について話したり情報交換したりしています。防災食、救命救急講習、防災センター見学、防災キャンプ等々の企画も考え中です。皆んなで防災意識を高めていきましょう。メンバーも募集中です。

New

のらくら農場萩原さんの経営力向上講習会

複雑で伝えづらい農作業や生育診断も「横に立ち伴走するコミュニケーション」で共有し、学びあい、とびっきりおいしい野菜をチームで栽培しているのらくら農場。代表の萩原さんに、野菜も人も畑で育つ「共創するチーム経営」についてお聞きします。萩原さんのほんっとにステキなお話、ぜひ聞いてください。
※講師はオンライン参加となります。 ※農水省オーガニック産地育成事業として開催します。
※当日参加が難しい方は後日期間限定で録画視聴できますので、お申し込み時に「録画視聴希望」とご記入ください。学習会後にメールにてご連絡させていただきます。



■日時: **2023年1月31日(火) 13:00~15:00**
■会場: **コープ自然派奈良会議室&オンライン** ■講師: **萩原紀行さん(のらくら農場)**
■参加費: 無料(一般共) ■定員: 会場20名、オンライン100名 ■主催: かしはらオーガニック ■イベントID: **16223084**
■申込み開始日: 12/19(月) 12:00より先着順 ※メールは同日午前0:00より
■申込メ切: 1/27(金) ※定員に達し次第、受付終了 ※オンラインの方はメールでお申込みください。

New

第8回生産者消費者討論会 午前の部 「わたしたちのみどり戦略の実現に向けて」



第8回生産者消費者討論会は、「わたしたちのみどり戦略の実現に向けて」をテーマに、コープ有機の各産地で有機農業を拓げるための課題や可能性を考えます。
農水省「みどりの食料システム戦略」は、2050年までに有機農業面積を25%に上げ、2040年までにネオニコ系農薬の使用を半分に減らす目標を掲げていますが、あと20年もネオニコ系農薬を使い続けて大丈夫でしょうか?コープ自然派の産直力で「みどりの食料システム」の早期達成を目指し、日本の有機農業を牽引していきたいと考えています。
基調講演では、京都大学の藤原辰史さんを講師に迎え、ナチスドイツが有機農業を政治的に利用した過去の経験を踏まえて「私たちが目指す国産オーガニックとは」についてお話いただきます。昨今の情勢の中で、有機農業と国家主義や排外主義が融合したかのような動きが出てきています。また、いま日本では、国民の危機意識をありながら軍備拡張へと動き出しています。生命の再生産をつかさどる農と食のあり方を再考し、私たちが目指すべき国産オーガニックについて考えます。さまざまなのがちが調和する有機農業をコープ自然派から広げ、「誰もが有機農産物を食べることのできる社会」を目指しましょう。

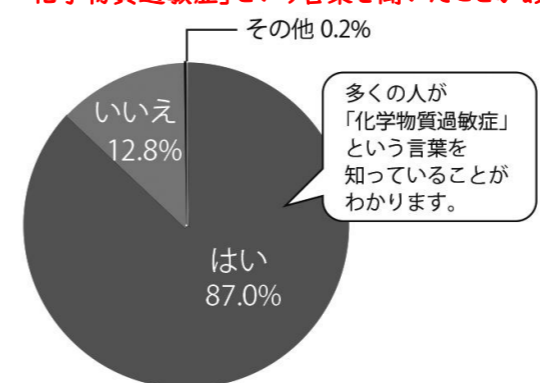
■日時: **2023年1月20日(金) 10:30~12:40**
■会場: **オンライン(zoomミーティング)**
■講師: **藤原辰史さん(京都大学人文科学研究所准教授)**
■参加費: 無料 ■定員: オンライン300名 ■イベントID: **16223411** ■申込メ切: 1/11(火)
■主催: アイチョイス×コープ自然派生産者消費者討論会実行委員会(連合産直委員会)
※会場定員の都合により、一般組合員参加は午前の部のみとなります。ご了承ください。



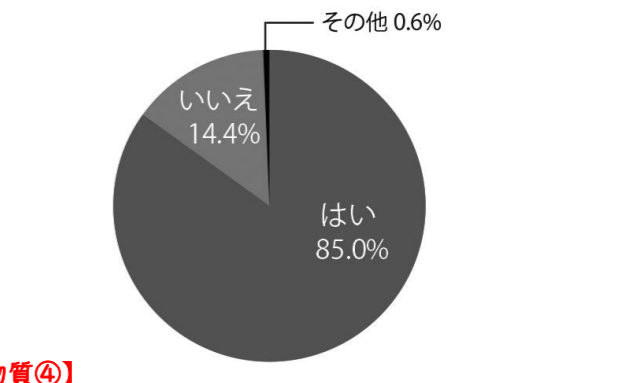
メールで申込み

みらいアンケート 結果報告 2022年3月から4月にかけて「みらい」から「香害」「電磁波」「アレルギー」「化学物質」の4項目についてアンケートを実施しました。今月から月に1回ずつ報告していきます。

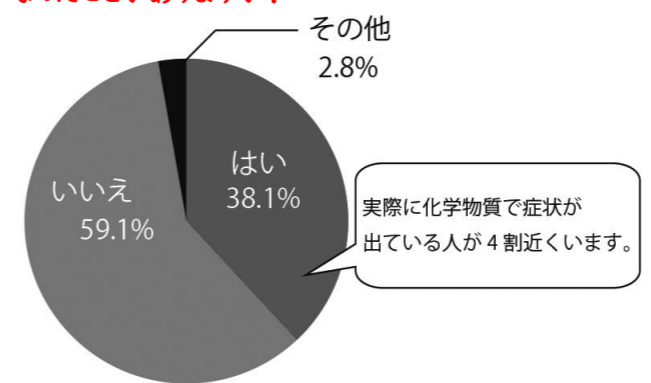
【化学物質①】 「化学物質過敏症」という言葉を聞いたことがありますか?



【化学物質②】 「化学物質」について心配に思うことはありますか?



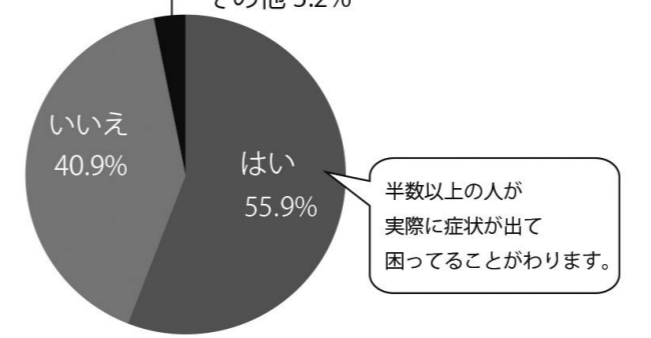
【化学物質③】 実際に「化学物質」で不快さを感じたり、体調が悪くなったことがありますか?



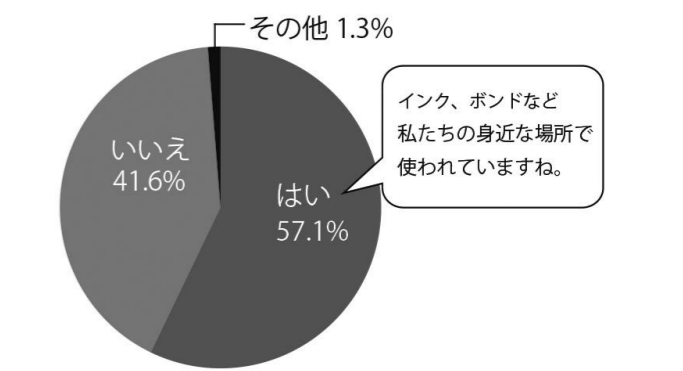
【化学物質④】 不快さを感じる、あるいは、体調を崩したのはどんな時(場面)ですか?

- ・日用品、洗剤などの成分が海に流れていくのが嫌です。環境破壊につながる工場とかより家庭排水が1番問題だなどと思います。
- ・新築の家に入った時
- ・改装したてのビルの室内で気分が悪くなった。
- ・建材F☆☆☆☆の木材を使用した家具を購入しましたが、目がチカチカして匂いが気になり気持ち悪くなりました。
- ・食品添加物の味が何となくわかる。
- ・私的公的を問わずあらゆる空間。タバコ、柔軟剤、制汗剤、芳香剤、防虫剤、印刷物などに晒されたとき。
- ・仕事場(工場)で化学物質が空気中に浮遊してそれを吸い込み続けて体調が悪くなった
- ・pm2.5 飛散中の目の違和感…とか
- ・洗剤やシャンプーの手荒れ
- ・強力な掃除洗剤を使う時
- ・合成洗剤で皮膚が酷く荒れます。蕁麻疹が出ることもあります。
- ・新しい家具を購入したときに体調が悪くなったことがありました。
- ・柔軟剤のニオイを嗅いだ時。
- ・自宅(賃貸)がビニールクロス、ビニールフローリングで、カビが生えやすい。
- ・建物の中の匂いが不快に思ったことが
- ・手荒れしやすいので、あわない繊維の服を着ると湿疹がでたりします。
- ・染色の匂いのする布屋さん
- ・ご近所からの洗濯物、排気のニオイは避けようがない。
- ・芳香剤、柔軟剤のにおい。
- ・近所の建物の外壁塗装(ペンキ)で目痛、頭痛など起きる
- ・白蟻駆除したときに2か月は目や鼻などの刺激に耐えなければなりませんでした

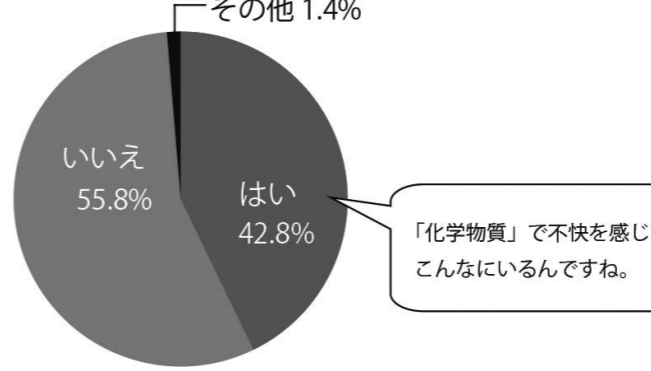
【化学物質⑤】 新築の建物や新車などで不快さを感じることはありますか?



【化学物質⑥】 インク、ボンド、接着剤などで不快を感じたことはありますか?



【化学物質⑦】 家族やお知り合いに「化学物質」に対して不快さを感じる方はいますか?



<みらい担当から一言>
アンケートへのご協力ありがとうございました。「化学物質」について心配している人が8割以上いることがわかりました。「化学物質」は目には見えないことから突然不快な想いをしている人が多いようです。「化学物質過敏症」という言葉の周知も広がっています。みらい担当では化学物質で苦しんでいる方への理解を深めるための学習会を続けていきたいと思ひます。
※1:リウマチ・アレルギー対策委員会報告書(平成23年)